

潮かぜ

う し お か ぜ

<https://yorii.city-niigata.ed.jp/>

新潟市立寄居中学校 学校だより

令和7年3月24日（月）発行

教育目標

【生きがい 思いやり 自治の力】

令和6年度終業式での山田校長先生のお話

まもなく、令和6年度が終わります。みなさん、令和6年度はどんな年だったでしょうか。

今年度一年間を振り返ってみて、どんな一年だったでしょうか。良かったか良くなかったか、どちらかに手を上げてもらいます。必ずどちらかに手を上げてください。

～略～

さて今日の話の主人公は、動物のヤマアラシです。

あるところに二匹のヤマアラシがいました。冬の寒い日の夜、二匹は凍えるのを防ごうと体を寄せ合いました。しかし、相手のとげが自分の体を刺すのです。痛くて我慢できなくなり体を離します。すると今度は寒さに我慢の限界がきます。そんなことを繰り返すうちに二匹はちょうど良い距離を見つけ出し、無事に夜を明かすのでした。

さて皆さん、この話を聞いてどう思ったでしょうか。

ヤマアラシの話でしたが、これは私たち人間にも同じようなことがいえる場面があります。物理的な距離ではなく、心の距離、すなわちそれは人間関係です。

近くなりすぎるがゆえに、様々な悩みが生まれることもあります。かといって遠く離れるのもさみしいばかりです。理想なのは「ちょうどいい距離」を見つけ出すことです。しかし、このちょうど良い距離を探すのは非常に難しい。私たち大人も悩むことがあります。

皆さんに考えてほしいのは、この「ちょうど良い距離」を作り出せるように、人との関わりを考えていってほしいということです。

大切なのは、「相手の気持ち・相手の立場」をよく考えて行動することです。自分の思いだけを一方的に伝えても、それはかなり無理があります。皆さんも似たような経験をしたことはありませんか？

互いに相手のことを思いやること、このことを実行できれば、きっとちょうど良い距離を見つけ、お互いに気持ちよい毎日が送れることでしょう。相手のことを考えて行動することを、ぜひこれから実践してください。

それでは、本日をもって令和6年度を終了いたします。新年度、元気な顔で再会できることを楽しみにしています。

3月3日（月） 第74回卒業証書授与式



担任の呼名後、校長先生から卒業生全員に卒業証書が手渡されました。



卒業記念合唱「正解」が披露されました。



「送辞」と「答辞」が述べられました。

転出職員あいさつ

今年度末は5名の職員が退職・転出することになりました。



教諭

今野 克紀

退職

この度、35年間の中学校教員生活を終えることになりました。寄居中学校では、4年間お世話になりました。身体の不自由な私でしたが、生徒のみなさんや保護者・地域の皆様からは、とても温かく接していただきました。感謝申し上げます。歴史と伝統あるこの素晴らしい地域で、寄居中学校の職員として勤務できたことは私の宝物です。本当にありがとうございました。



講師

石川 朋子

転出先 五十嵐中学校

寄居中学校の1年間はみなさんの成長を感じる充実した時間でした。特に学習への取り組みが素晴らしく、「次の授業はこんなことをしようかな」と考えることが私の楽しみとなりました。多くのことを教えてくれたみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。また、保護者の皆様から温かいご支援をいただきました。ありがとうございました。



副主査

谷 謡子

転出先 木崎中学校

寄居中学校では、4年間お世話になりました。私にとって中学校での勤務は、この寄居中学校が初めての経験でしたが、毎日とても充実した日々を過ごすことができました。保護者の皆様、地域の皆様からも温かいご支援をたくさんいただきました。ありがとうございました。



図書館司書

滝沢 基史

転出先 大淵小学校

寄居中学校では、5年間お世話になりました。寄居中の生徒はみんなとてもフレンドリーで司書である私にも気軽に話しかけてくれました。寄居中での経験を活かし、次の勤務校でも頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。



特別支援教育支援員 石原 義治 転出先 山の下中学校

この度、東区の山の下中学校へ異動となりました。これまで寄居中学校で過ごした時間は、私にとってとても大切な時間でした。皆さんの成長を間近で見ることができ、本当に嬉しく思っています。4月からお互いに新しい環境となりますが、環境が変わっても頑張っていきましょう。3年間本当にお世話になりました。